

産業
情報

いわて

Industry
Information
Iwate

2021.4.5

VOL. 210

[公財]いわて産業振興センター広報誌

いわて産業振興センター

2021年度事業のご紹介

岩手の産業振興を総合的に支援／2

ものづくり産業の集積・発展を支援／3

中小企業の発展を支援／4

企業の生産性向上を支援／5

商品開発・研究開発を支援／6

企業の経営課題解決を支援／7

岩手県の中核的産業支援機関／8

公益財団法人いわて産業振興センターをご活用ください

岩手の産業振興を総合的に支援

岩手県は、新型コロナウイルス感染症による影響はもとより、高齢化や人口減少等のさまざまな課題に直面しています。また、北上川流域を中心とした加速的な産業の集積、「第4次産業革命」の進展などの環境変化にも目まぐるしいものがあります。

こういった環境の中、いわて産業振興センターは、国・県・商工団体・大学・試験研究機関等との連携を図りながら、岩手の産業振興を全力で支えています。

1

ものづくり産業の集積・発展を支援 p.3へ

近年、岩手県は、県央地区を中心として、ものづくり企業の集積が進んでおり、世界のものづくり産業を支える生産拠点エリアとして、ますますその重要性を増しています。センターは、県内ものづくり企業の一層の発展をめざし、取引の拡大や技術力の向上を支援していきます。



2

中小企業の発展を支援 p.4へ

岩手県内には、ものづくり以外にもさまざまな産業に関連する企業が立地しています。特に、食品加工企業は岩手の豊富な農林水産資源に活かし、県内の主要な産業です。また、高い技術力で裏打ちされた縫製業（アパレル産業）は世界的な評価を受けています。こうした地域に根差した中小企業の発展を支援していきます。



3

企業の生産性向上を支援 p.5へ

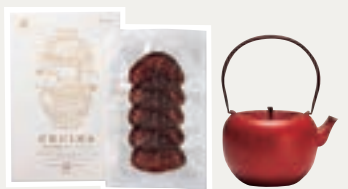
企業の生産性向上への取り組みは、働き方の多様化や、従業員不足を補うために、必須のテーマとなっています。このため、センターはこれまでも企業のカイゼン活動を支援しており、さらにIoTや自動化設備導入等を具体的に支援しています。併せて、こうした企業の取組を担う人材の育成や確保も支援していきます。



4

商品開発・研究開発を支援 p.6へ

企業の発展・成長において、他社との差別化を図り、優良な顧客や取引先を確保していくためには、魅力的な商品や優れた技術は欠かすことができません。センターは、そうした意欲的な企業の取組を大学・試験研究機関等と連携しながら、支援していきます。



5

企業の経営課題解決を支援 p.7へ

県内には、売上・集客の拡大や経費の見直し、資金繰り、社内の体制強化などさまざまな経営課題と常に向き合いながら苦闘を重ねる企業がたくさんいます。さらに東日本大震災で被災し再建した企業の復興も道半ばです。センターは、企業の課題に寄り添いながらきめ細かな支援をしていきます。



1

ものづくり産業の集積・発展を支援

県内の自動車や半導体等の大手メーカー生産拠点工場が近年、相次いで拡張・増産されています。これに合わせ、それらの部品等を製造・供給する”ものづくり企業”も集積・拡大しています。当センターにおいては、ものづくり企業の取引を活発化させるとともに、技術力の向上等を支援することで、県内のものづくり産業の発展をめざしています。



取引商談会

いわて商談会については、昨年度新型コロナウイルスの影響により非対面での開催となりましたが、今年度については、開催時期を例年の11月より前倒しで対面方式により開催することで計画しています。

また、東京で開催している北海道・青森県・秋田県と共催している取引商談会は、例年6月開催から新型コロナウイルスの影響を避けるために令和4年2月開催で計画しています。

日常的に県外発注企業等からのオーダーに職員がきめ細かな対応を行い、県内企業の新たな受注取引につなげています。

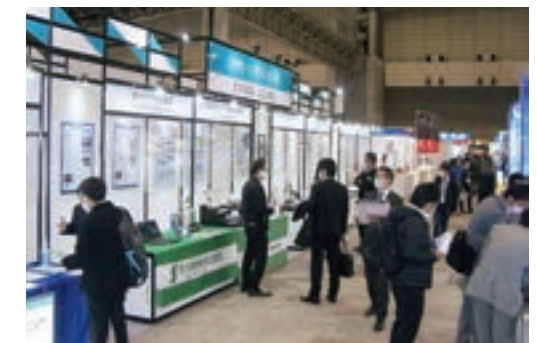


自動車技術展示商談会

トヨタ自動車をはじめ国内自動車メーカー及び部品メーカーとの新規取引拡大をめざし、受注可能な企業の掘り起しや技術提案、自動車関連技術展示商談会の開催・出展を支援します。

このほか、半導体関連や医療機器関連の展示会出展も支援しています。

国内最大規模の機械要素・加工技術を集めた専門技術展である機械要素展は、ここ2年来場者が大幅に減少する等新型コロナウイルスの影響を受けての開催となりましたが、今年度は令和4年3月に開催される事となっており、例年通り14社で出展することを計画しています。出展企業様の販路拡大に向けた取組を今後も行います。



機械要素技術展

半導体関連産業では、携帯電話の5Gへの移行やテレワークの普及等に伴い、半導体や半導体製造装置の受注が増加傾向にあり増産体制の整備が進められています。「いわて半導体関連産業集積促進協議会（I-SEP）取引拡大部会」を中心にマッチング機会を設ける等新規取引の拡大を支援します。



技術セミナー

●お問い合わせ ものづくり振興部

TEL：019-631-3822

センターにおいては、ものづくり産業だけでなく、食品や工芸、アパレル、ITなどさまざまな産業分野の企業を支援しています。特に、岩手を取り巻くマーケットの情勢が変わりゆく中、県内企業としても経営戦略を見直し、求められる商品・サービスに転換し、新たな取引先を開拓することは重要となっています。センターは、そうした意欲的な企業を継続的に支援していきます。



食の大商談会

地域経済や雇用の担い手である食品加工関連企業の新たな販路を開拓するため、関係機関と連携して、いわて食の大商談会の開催や商談会へ岩手県共同ブースの出展を行っています。

引き続き、国内のみならず海外も視野に入れ、新たな取引先の開拓に向けて、県や関連団体と連携しながら取り組んでまいります。

海外生産が主流のアパレル業界において、岩手県は、日本でも有数の縫製企業集積地域として注目されています。世界的なブランドの要求にも応えられる高い技術力を有する工場が多く、生産するアイテムも多岐にわたります。

センターでは、アパレル関連見本市への出展により、県内縫製企業の高い技術力を広くPRするとともに、ビジネスマッチング商談会の開催等により新規取引拡大に向けた支援を実施しています。



JFW JAPAN CREATION 2021



いわて組込み技術研究会

センターでは、IT関連産業の基盤強化・成長促進を図るため、発注企業とのビジネスマッチング商談会の開催や専門展示会出展費用の助成等により、新規取引拡大及び販路拡大に向けた支援を行っています。

また、さまざまな分野でデジタル化の必要性が高まる中、製造現場におけるIT、IoT活用を促進するため、県内ものづくり企業との連携構築の強化も図っていきます。

岩手には、豊かな大地に育まれた農畜産物や新鮮な水産物、そしてこれらの素材を生かした加工食品、また、歴史と文化に培われた南部鉄器や秀衡塗（漆器）、岩谷堂筆筒など伝統的工芸品が今も息づいています。

センターでは、岩手の魅力あふれる商品をたくさんの方々に伝えることができるよう、関係者と連携しながら、東京、名古屋、盛岡の百貨店で物産展を開催し、企業の販路開拓を支援しています。



物産展

企業の継続において、利益を常に生み出すことができる筋肉質の経営体質になっていくことが求められます。また、人手不足やビジネスのスピードが求められる中、省人化や情報化が欠かせません。センターにおいては、製造工程のカイゼンのほか、IoT、ICTの普及、生産性の高い設備の導入など支援するとともに、社内の中核的な人材の確保等も支援していきます。



工程改善研修の様子

企業の生産性の向上を図るため、県と連携して、県内に生産拠点を有するトヨタ自動車東日本㈱の支援を受け、17年前からカイゼン活動の普及促進に取り組んできました。その結果、生産工程のムダ取りや省人化等、顕著な成果が現れている企業も数多く生まれています。

センターでは、トヨタ自動車東日本㈱OBをコーディネーターに迎え、企業の課題に応じて、個別の訪問指導やグループによる研修会を実施しています。

モノのインターネット化が加速する中、中小ものづくり企業においても、IoT技術等の導入により、生産性の向上や新たな付加価値の創出に向けた取り組みが重要となっています。

センターでは、IoT技術等に関する専門家の指導やソリューション紹介、導入費用の助成等により、ものづくり現場におけるIoT導入を促進することで、県内企業の生産性向上に向けた活動を支援しています。



IoT導入促進セミナー



設備貸与制度を活用した「バンドソー」

センターでは、昭和43年から国・県と連携し、設備貸与事業を実施し、県内企業の設備導入を促進してきました。現在も融資枠外の無担保の制度として、ものづくりだけでなく、食品加工や建設、運送業など、さまざまな企業に活用いただいております。新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」など経営環境の変化に対応する生産性向上や業態転換に向けた設備投資につきましても支援していきます。（詳細p8参照）

県内の企業においても、人材不足が大きな経営課題となっています。センターでは、県から委託を受け、県内企業に就職する大学生等に対するの奨学金の返還を助成しています。

また、プロフェッショナル人材戦略拠点事業を通じて、これまでに県内企業の専門的な経験を有する人材等190名の採用を支援してきました。引き続き、関係機関と連携しながら、企業の人材確保を支援していきます。



プロフェッショナル人材戦略拠点事業

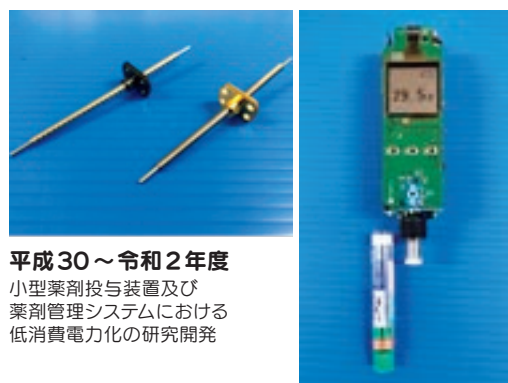
新たな顧客や取引先を確保し、広げていくためには、他社との差別化が必要です。また、これまでの取組・経験を活かしながら、さらなるステップアップも必要です。センターでは、新たな事業や商品開発を支援するとともに、研究シーズを活かした技術開発・研究開発を支援しています。

センターでは、国の機関や県、金融機関からの出捐により、「いわて希望応援ファンド」を造成し、その運用収入を主な財源として、県内企業が行う新商品開発や販路開拓等の新たな取り組みへ公募助成を行っています。助成金の交付に加え、専門家の派遣指導などを通じて、企業の新事業展開を継続して支援していきます。



希望ファンドで応援した商品

大学や試験研究機関の研究シーズを活用し、企業の技術開発等を促進するため、国や県等においては、研究開発費の助成を公募実施しています。センターにおいては、産学共同研究のマッチングを図り、共同研究事業の申請や事業の管理のほか、研究成果の事業化に向けた支援を行っています。



平成30～令和2年度
小型薬剤投与装置及び
薬剤管理システムにおける
低消費電力化の研究開発



表彰式の様子

企業の新商品の開発の促進と商品力の向上を目的として、昭和49年から「いわて特産品コンクール」を毎年開催しています。2019年からは、「IWATE FOOD&CRAFT AWARD」と名称変更しました。

出品された企業及びその商品については、商品のブラッシュアップや販路開拓を継続して支援していきます。



令和2年度
加速器セミナー
(新型コロナウイルス感染予防
対策を行い実施)

令和2年～3年度
ILCクライオモジュール精密
位置決め調整架台用アクティ
ブムーバーの機構開発の確立

岩手県では、国際的な宇宙素粒子の実験施設である国際リニアコライダー(ILC)の県内誘致に向け、官民を挙げた運動を展開しています。センターにおいては、ILCの県内誘致実現を見据え、県内企業がILCの加速器技術を十分活かし、ビジネスにおいても参入できるよう、研究開発を支援しています。こうした加速器の技術は、ILCだけでなく、他の先端技術での活用も期待されています。

新型コロナウイルス感染症により影響を受ける、又はその恐れがある事業者様の経営上の相談に対応しています。また、事業者様の事業活動における悩みや課題を整理し、それぞれの強みや可能性を引き出す支援をしています。さまざまな視点で見ることによって新しい方向性を見出すことも少なくありません。まずは、「よろず支援拠点」をはじめ、センターにご相談ください。

国は、小規模零細事業者向けの相談窓口として「よろず支援拠点」を全国の都道府県に設置しており、岩手県では、当センターがその設置先となっています。

「よろず支援拠点」の相談対応を行うコーディネーターは、自ら独立してコンサルタント等を実践している12名の民間専門家であり、それぞれの得意分野を活かし、企業への助言を行っています。センターにおいては、他の事業とも連携しながら、事業者の成長を総合的に支援しています。



よろず相談

企業の社員養成のほか、企業を取り巻く課題解決に向け、さまざまなセミナー、研修会を開催しています。特に、企業の経営者・管理者を育成を目的とする「中堅管理者育成セミナー」は、旧いわて経営者大学から続く研修会として、多くの企業から参加いただいています。



セミナー



大槌町の小豆嶋漁業株式会社

10年前、東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸企業で、再建しようとする中小企業者に対し、センターは、国等の資金を活用し、施設・設備の再建費用を無利子で貸付してきました。沿岸地域のインフラは次々と整備されていますが、復興工事の完了や相次ぐ災害、また新型コロナの影響などにより、厳しい経営となっている企業も増えています。センターとしては、それぞれの経営課題を明確にしなが、専門家を交え、具体的な対策につなげられるよう個別支援を継続しています。



センターの主催事業や公募事業については、センターホームページに逐次掲載しております。また、賛助会員向けに、広報誌「産業情報いわて」や関連資料を定期的に送付するなど、企業の必要な情報提供に努めています。

それぞれの経営課題に合わせ、必要な情報は電話等でぜひお問合せください。

岩手県の中核的産業支援機関 公益財団法人いわて産業振興センターを ご活用ください。

いわて産業振興センターは、1971年(昭和46年)に県内中小企業の設備近代化を推進するため発足しました。その後、取引支援や研修事業、産学連携による研究開発型企業の育成や物産振興、貿易の推進などの機能を強化して、現在のセンターに発展してきました。



総務金融部

総務企画担当 019-631-3820(代)
設備貸与担当 019-631-3821
産業復興支援室 019-631-3821

産業支援部

地域産業・企業支援担当 019-631-3822
産業人材育成担当 019-631-3824
生産技術革新担当 019-631-3824
よろず支援拠点 019-631-3826
プロフェッショナル人材戦略拠点 019-631-3828

ものづくり振興部

取引支援・産業集積担当 019-631-3822
産学連携室 019-631-3825

海外戦略室 019-631-3820



賛助会員募集中

- ◆年会費：一口20,000円
- ◆会員特典は下記のとおりです。
 - ① 広報誌「産業情報いわて」の定期送付
 - ② 取引商談会の参加料割引
 - ③ 経営管理者向け研修会の参加料割引
 - ④ 社内研修用のDVD貸出送料無料

設備貸与制度のご案内

長期

最長10年

低利

年1.1%~1.6%
(固定金利)

無担保

金融機関融資
と別枠

より
使いやすく
金利を
軽減しました

**連帯保証人
代表者1名**

経営者保証
ガイドラインに
準拠

公益財団法人いわて産業振興センター ● お問い合わせ 設備貸与担当 TEL:019-631-3821 FAX:019-631-3830

産業
情報 **いわて**

(公財)いわて産業振興センター広報誌

■発行/公益財団法人いわて産業振興センター
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2丁目4-26
(岩手県先端科学技術研究センター1F・2F)
[TEL] 019-631-3820(代) [E-mail] joho@joho-iwate.or.jp
[URL] <http://www.joho-iwate.or.jp/>
■発行日/2021年4月27日 ■印刷/川口印刷工業株式会社



**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。